

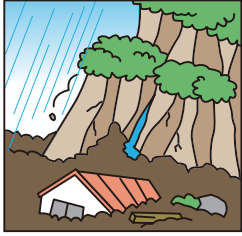
土砂災害に備えて

土砂災害の被害から身を守るためには、土砂災害に対する知識と備えが必要です。日頃から家族や地域のみなさんで避難方法や避難情報などについて確認しておきましょう。

土砂災害の種類と前兆現象

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱めて、大雨や地震などの影響により急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで発生すると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなります。

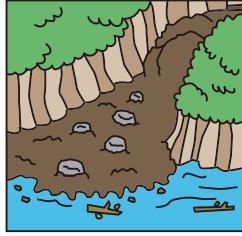


前兆現象

- ・がけから小石などが落ちてくる。
- ・斜面のひび割れなどの変化がある。
- ・がけからのわき水が濁る。

土石流

山腹・谷底の土砂や岩石が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流されることをいいます。土石流の速さは規模によって異なりますが、時速 20～40 km という速さで人家や田畑などを壊滅させてしまいます。

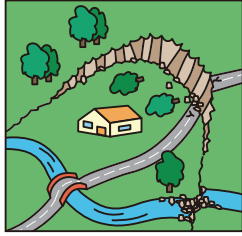


前兆現象

- ・山鳴りがする。
- ・雨が降っているのに川の水が減る。
- ・川が濁ったり、木が流れたりする。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面の下方に移動することをいいます。一般的に移動する土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すと、地すべりを完全に停止させることは非常に困難となります。

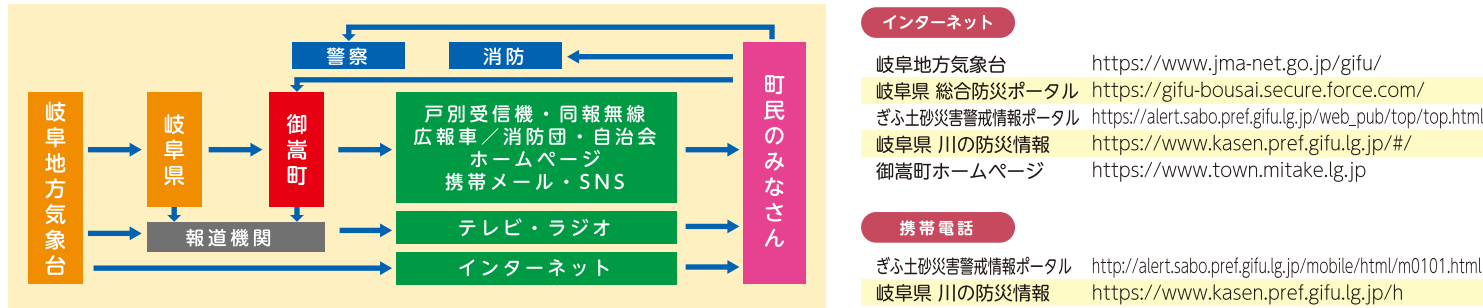


前兆現象

- ・地面にひび割れができる。
- ・井戸や沢の水が濁る。
- ・がけや斜面から水が噴き出す。

土砂災害に関する情報の伝達経路について

土砂災害・洪水に関する情報や避難情報は、次の図のような経路で町民のみなさんに伝達されます。災害発生のおそれがあるときには、情報に注意しましょう。



避難行動や避難時の心得

土砂災害は、発生箇所及び時期の正確な予測が困難である上に、人的被害に結びつくおそれも高いことから、早期避難が重要となってきます。そのため、日頃から気象情報の確認や安全に避難できる避難路の確認をしておきましょう。

避難時の注意事項

▼動きやすい格好、2人以上での避難を

避難する時は、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。



▼水深が 50 cm 以上なら歩くことは危険

水深がひざまで来ると歩くことが困難になります。水深が浅くても流れに勢いがある場合にはむやみに歩き回るとは危険です。



▼避難の前に

避難する前に、電気・ガスなどの火元を消しましょう。また、親戚や知人に避難する旨を連絡しておきましょう。



▼高齢者などの避難に協力を

高齢者や子供、病気の人は、早めの避難が必要です。近所の高齢者などの避難に協力しましょう。



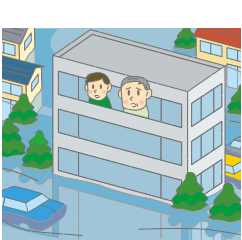
▼浸水箇所には注意して避難を

浸水箇所があった場合には長い棒を杖代わりにして、水路や側溝などがなく確認しながら十分注意して避難しましょう。



▼安全な場所への避難

避難先まで避難することが難しい場合を想定し、親戚・知人宅に避難することや、建物の2階以上への垂直避難などの策も考えておきましょう。



！避難先での感染症予防

避難先では多くの人と生活空間や衛生設備を共有することが想定されるため、感染症の拡大リスクが高まります。そのため、一人一人がこまめな手洗い・手指消毒やマスクの着用・咳エチケットを行うことが大切です。

！避難時の携行品に関すること

県・町の防災に関するホームページを確認して日頃から備えておきましょう。

土砂災害の発生につながる情報

大雨注意報	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
大雨警報	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨警報（土砂災害）」、「大雨警報（浸水害）」又は「大雨警報（土砂災害、浸水害）」のように発表します。
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表します。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨特別警報（土砂災害）」、「大雨特別警報（浸水害）」又は「大雨特別警報（土砂災害、浸水害）」のように発表します。
土砂災害警戒情報	大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報です。
記録的短期間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測（地上の雨量計による観測）したり、解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析：解析雨量）したりしたときに発表します。
顕著な大雨に関する情報	大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を解説する情報です。

警戒レベルについて

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

警戒レベル	状況	避難情報等	避難行動の例	土砂災害の状況（雨）
5	災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	命の危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているもおかしくない極めて危険な状況。この段階の前に避難完了する。	大雨特別警報 （土砂災害）
4	災害のおそれ高い	ひなんしじ 避難指示	速やかに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。高齢者は速やかに避難する。	大雨警報
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 （気象庁）	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 （気象庁）	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—

※ 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

わが家の防災メモ

- 家族の集合場所
- わが家の避難先
- 緊急時の連絡先
- 家族の連絡先
- 病院の連絡先

災害用伝言ダイヤル 171 利用方法

▼ 171 にダイヤル ▼

録音するときは **1** をプッシュ 再生するときは **2** をプッシュ

▼ 電話番号を入力 ▼

ガイダンスにしたがってメッセージを **録音** または **再生**

緊急連絡先

御 嵩 町 役 場：0574-67-2111（代）
可 茂 土 木 事 務 所：0574-25-3111（代）
岐 阜 県 砂 防 課：058-272-8621
中 部 電 力 パ ワ ー グ リ ッ ト（株）：
加 茂 営 業 所：0120-924-662

警察	110
消防	119